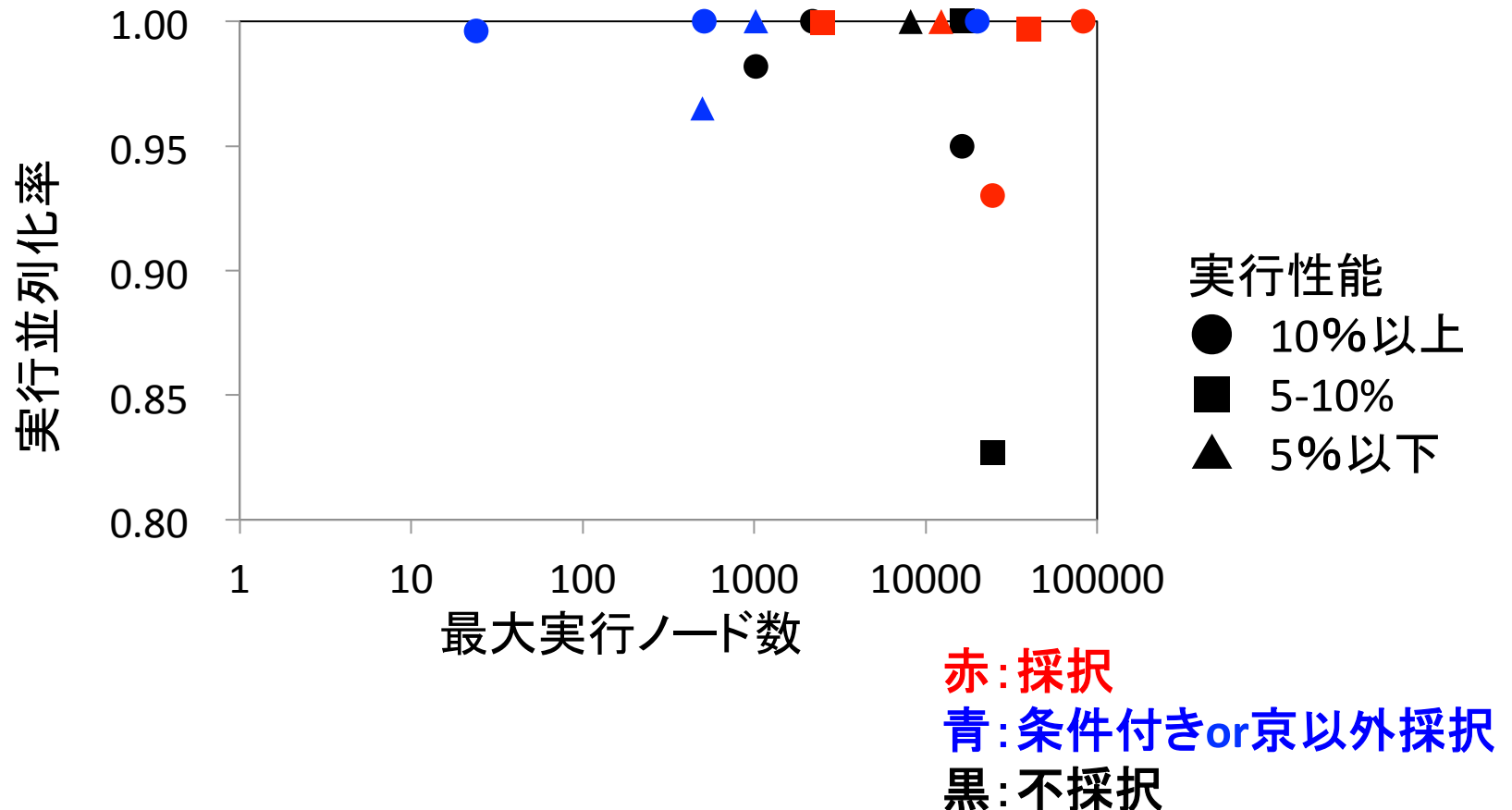


# 「京」一般利用申請に関するアンケート結果と申請書記載アドバイス

# プログラム実行情報と採択結果

質問内容: 申請書類の

1.最大実行ノード数、2.実行並列化率、3.演算性能、4.コメント



# 京における利用研究課題選定の基準

選定基準	一般課題	産業利用課題	若手人材育成課題	トライアルユース課題
(1) 科学的に卓越し、又は社会的に意義が高く、ブレークスルーが期待できる課題であること。	○			
(2) 京が有する計算資源を必要としていること。	○	○	○	○
(3) ソフトウェアの効率性(並列性)、計算処理、データ収集、結果の解析手法等が十分に検証済みであるとともに、各種資源の利用計画や研究体制が妥当であること。	○	○	○	○
(4) 提案課題の実施及び成果の利用が平和目的に限定される等、科学技術基本法や社会通念等に照らして、当該利用研究課題の実施が妥当であること。	○	○	○	○
(5) 産業利用課題 (イ) 自社内では実施できない解析規模や難易度の課題であること。		○		
(ロ) 産業応用の出口戦略が明確な課題であること。		○		○
(ハ) 産業利用の開拓に向けた波及効果(社会への貢献)が十分期待できる課題であること。		○		○
(ニ) 実利用に向けた計画や展望があること。				○
(6) 若手人材育成課題 利用研究課題応募年度の4月1日現在で39歳以下の利用者が一人で行う研究計画であること。将来の発展が期待できる優れた着想を持つ研究計画であること。			○	19

## 「京」の利用課題追加募集の規模

---

### ●「京」

総割当資源量 約1千万ノード・時間積(全体の**3%**)

「京」の利用課題には、利用可能な資源量に応じたクラスを設定し、クラスごとに募集を行います。

「京」資源クラス分け

- 50万ノード時間積クラス 募集課題数 **10**課題程度
- 100万ノード時間積クラス 募集課題数 **5**課題程度

※ クラス毎の採択課題数は応募状況により変動する可能性があります。

※ 産業利用の課題数は3件程度を目安としていますが、応募状況により変わります。

# アンケートの解析結果

- 高度化目標ラインは10000ノード、実行並列化率0.999、実行性能10%
- 採択課題のコメントには、社会的意義、社会的要請が高いと複数に書かれている
- 資源要求量を過度に大きくしすぎない(1.5年で平均707万ノード時間積)
- 重点課題との違いを明確に書く必要がある